

出向く営農レポート

番外編

日々勉強中！
出向く営農担当者会議

農家の方に少しでも新しくより良い情報をお伝えするため、出向く営農担当者が集まり、地域ごとの特色や病害虫などについて情報共有を行っています。前回の会議では春夏野菜の防除について、イノチオプラントケア(株)の二村氏を講師に迎え、研修を行いました。

農家の方から質問が多かった作物を中心に、講師おすすめの農薬や効果的な使用方法についての検討、春夏野菜の防除暦の見直しを行いました。



わかりやすい防除暦について真剣に考える出向く営農担当者

防除ポイントを一部ご紹介！

殺菌剤の散布は雨が降る前に行いましょう

病気の原因となる菌類は雨が降った後の水分や湿気により発生・悪化することがあります。植物の病気は人と違い、農薬散布で治るわけではありません。その為、殺菌剤による防除をする場合「雨が降りそうなので延期」ではなく、雨が降る前にしっかり防除を行い、病気を防ぎましょう。

会議後は一年間の活動を振り返り、今後の計画など意見を出し合いました。平成30年度はカリフローレ・アレッタ・サボイキャベツなどを中心に新野菜に力を入れました。令和元年度はこの取り組みをより定着させるとともに産直の魅力を一層生み出せるよう様々な提案を行っていきます。



引き続きこのレポートを通じて農家さんの活躍や営農指導ポイントなどを紹介していきます。また、グリーンセンターなどで出向く営農担当者を見かけましたらお気軽にお声かけください。